

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency



# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	斗南病院	階数	地下1階地上11F
建設地	札幌市中央区北4条西7丁目3-1,3-2,3-4,3-8,3-10	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,053 人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	3,318 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大建設
建築面積	2,838 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月10日
延床面積	21,541 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	
<p>・低層部に赤レンガに近似した材料を選定し、周辺環境との調和を図っています。</p> <p>・縦ライン強調のデザインとし窓面積を必要最低限とすることで、空調負荷の低減を図っています。</p>	<h4>A 省エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域冷暖房熱源を利用し、地球温暖化対策に配慮しています。</li> <li>・節水型器具等の利用により、排水量の削減を図り省エネルギー化に配慮しています。</li> <li>・搬送動力削減のため回数制御を行っています。</li> <li>・外気処理機にはインバーターを採用し省エネルギー化に配慮しています。</li> <li>・高効率照明器具(Hf・LED)を採用し省エネルギー化に努めています。</li> </ul>
<h4>B 省資源等</h4> <p>・地域冷暖房熱源を利用し、地球温暖化対策に配慮しています。</p>	<h4>C 緑化</h4> <p>・建物周囲が狭小な中で、北海道に自生している樹種を選定し緑化を図っています。</p>
	<h4>D 雪処理</h4> <p>・建物周辺の歩道にロードヒーティング設備を自主設置しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される